

2003年3月期 決算説明会

2003年5月20日
株式会社電通国際情報サービス

1

代表取締役社長
瀧浪 寿太郎

2

2003年3月期 連結損益計算書

IT Solution Innovator **iS/D**

(単位：百万円、%)

	11/11発表 予想値	2/5発表 修正値	03年3月期 実績	修正値比	02年3月期 実績	前年比
売上高	78,000	70,000	70,813	101.2	72,447	97.7
売上総利益 (利益率)	20,670 (26.5)	15,190 (21.7)	15,818 (22.3)	104.1	20,250 (28.0)	78.1
営業利益 (利益率)	2,300 (2.9)	△1,700 (△2.4)	△1,569 (△2.2)	—	5,361 (7.4)	—
経常利益 (利益率)	2,700 (3.5)	△1,700 (△2.4)	△1,584 (△2.2)	—	5,761 (8.0)	—
当期純利益 (利益率)	1,000 (1.3)	△2,000 (△2.9)	△2,058 (△2.9)	—	2,752 (3.8)	—

3

2003年3月期 単独損益計算書

IT Solution Innovator **iS/D**

(単位：百万円、%)

	11/11発表 予想値	2/5発表 修正値	03年3月期 実績	修正値比	02年3月期 実績	前年比
売上高	59,000	54,000	54,331	100.6	57,204	95.0
売上総利益 (利益率)	13,747 (23.3)	10,000 (18.5)	10,405 (19.2)	104.1	15,414 (26.9)	67.5
営業利益 (利益率)	1,800 (3.1)	△1,500 (△2.8)	△1,198 (△2.2)	—	4,247 (7.4)	—
経常利益 (利益率)	2,000 (3.4)	△1,400 (△2.6)	△1,062 (△2.0)	—	4,424 (7.7)	—
当期純利益 (利益率)	800 (1.4)	△1,400 (△2.6)	△1,178 (△2.2)	—	1,452 (2.5)	—

4

中期経営目標

IT Solution Innovator **ISiD**

連結売上高（既存グループ会社）

2003年3月期の実績を出発点として、
2006年3月期までの年平均成長率5%以上

収益性

2006年3月期連結売上高経常利益率6%以上

ゴールではなく、長期的企業成長と
継続的収益性向上へのマイルストーン

5

中期経営目標における基本方針

IT Solution Innovator **ISiD**

- ① プライム・コントラクターとしてのポジショニングと
トータル・ソリューション・プロバイダーとしてのビジネス・
モデルを堅持し、顧客満足度の向上に努める。
- ② 2006年3月期までの3ヵ年は、既存戦力を強化・充実させ、
これまで培ってきた「ISiDの強み」を十分に発揮することに
努め、その強みを十分に活用できる組織体制を追求する。
- ③ ISiDグループとしてのシナジーを本格的に実現させる
ために、コラボレーションの活発化、業務効率の向上を
通して、成果の極大化を追求する。
- ④ M&Aは、グループのソリューション提供機能を補完・補強
し顧客満足度を高めるために継続して推進する。

6

2004年5月の本社移転計画に関して

目的

- ・ JR品川駅近くに本社を置く事による、顧客への接触度向上
- ・ ISiDグループを一箇所に集約することによるコミュニケーション促進と更なるグループ・シナジーの実現
- ・ グループ全体としてトータル・ソリューションを提供することによる顧客満足度の向上
- ・ ISiDホライズンを中心とした管理間接部門の効率化

移転に伴う費用

- ・ 2005年3月期に移転費用として約18億円の発生見込

移転先

- ・ 東京都港区港南2-17-1 「京王品川ビル」

7

中期経営目標達成のための戦略

- ① 継続的受注による安定収益の確保
- ② 新規成長市場の開拓
- ③ プロジェクト・マネジメント・レベルの向上
- ④ コスト競争力の向上

8

コーポレート・ガバナンス強化のため執行役員制採用

- ・取締役会の構成に関し、従来設置していた専務取締役ならびに常務取締役を置かず、代表取締役と取締役のみで構成する。
- ・代表取締役社長を最高執行責任者とし、事業の執行責任を負う取締役については、常務執行役員ないし執行役員に任ずる。
- ・この取締役会組織のフラット化および執行役員制採用は、経営に関わる意思決定のさらなる迅速化を図り、事業に対する取締役の権限を強化するとともに執行責任を明確化することが目的。
- ・これらの施策を通じて、業績回復向け事業推進体制の強化を図ると同時に、株主利益の一層の向上に資する経営責任体制を構築することで、コーポレート・ガバナンスの更なる強化を図る。

9

2004年3月期 業績予想

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年3月期	04年3月期	前年比	03年3月	04年3月	前年比
売上高	70,813	73,000	103.1	54,331	56,000	103.1
営業利益 (利益率)	△1,569 (△2.2)	1,500 (2.1)	—	△1,198 (△2.2)	1,200 (2.1)	—
経常利益 (利益率)	△1,584 (△2.2)	2,000 (2.7)	—	△1,062 (△2.0)	1,300 (2.3)	—
当期純利益 (利益率)	△2,058 (△2.9)	980 (1.3)	—	△1,178 (△2.2)	670 (1.2)	—

10

常務取締役 笠 健児

11

2003年3月期実績

12

2003年3月期 業種別売上高

IT Solution Innovator **iSiD**

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	02年3月期	03年3月期	前年比	02年3月期	03年3月期	前年比
金融	27,628	18,638	67.5	17,026	12,465	73.2
製造	22,472	26,900	119.7	21,511	20,817	93.5
電通グループ	9,870	12,030	121.9	9,870	12,030	121.9
流通・サービス等	12,477	13,245	106.2	8,795	9,018	102.5
合計	72,447	70,813	97.7	57,204	54,331	95.0

13

2003年3月期 業種別ビジネス動向

IT Solution Innovator **iSiD**

金融業

- 市場環境
 - 金融機関のシステム投資抑制が強まる
 - 新規案件の先送り、もしくは凍結
- 内的要因
 - 不採算案件の発生⇒機会損失

製造業

- 市場環境
 - 製造業企業の投資抑制継続 → CAD有効利用のための投資顕在化
- ビジネス状況
 - ライセンス売上におけるセールス・ミックスの変化
 - ERPにおける新規プロダクト立ち上がり遅れ
 - ERP、SCM、設計開発プロセス改革等の上流コンサルティングは堅調
 - SIID、iTiD、JBCの連結業績寄与

流通・サービス業

- 市場環境
 - CRM、EIP及び管理会計システム需要強まる
 - 投資抑制、デフレによる価格圧力、競争激化
- ビジネス状況
 - 大手顧客向けSI、管理会計ビジネス堅調
 - 顧客企業の戦略的情報化投資であるCRM事業の成長
⇒ 電通との協業も着実に成果を出している

14

2003年3月期 サービス品目別売上高

IT Solution Innovator **iSiD**

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	02年3月期	03年3月期	前年比	02年3月期	03年3月期	前年比
システム開発	29,719	25,790	86.8	20,495	20,003	97.6
ソフトウェア製品	3,137	2,225	70.9	2,081	1,379	66.3
情報処理 通信サービス	5,469	5,801	106.1	4,552	4,718	103.6
ソフトウェア商品	23,733	27,076	114.1	22,678	21,702	95.7
情報機器販売	10,034	9,406	93.7	7,136	6,107	85.6
その他	353	512	145.0	261	419	160.5
合計	72,447	70,813	97.7	57,204	54,331	95.0

15

不採算案件に関して

IT Solution Innovator **iSiD**

	上 期		下 期		通 期	
	単独	連結	単独	連結	単独	連結
売上高	約1億	約1億	約7億	約15億	約8億	約16億
原価	約3億	約3億	約16億	約32億	約19億	約35億
粗利	約△2億	約△2億	約△9億	約△17億	約△11億	約△19億

＊ トラブルに関しては、2003年3月に収束

＜不採算案件発生の原因＞

- ・ 仕様確認、設計変更対応、仕様変更・追加への対応の問題
- ・ サプライヤー、協力会社管理の問題
- ・ トラブル管理体制運用の問題

16

不採算案件再発防止策

⇒リスク・コントロール能力の向上

IT Solution Innovator **ISI/D**

【組織対応】

- ・事業部から独立した事業推進部設立による牽制強化
- ・執行責任の明確化と権限委譲による対応迅速化

【管理プロセス強化】

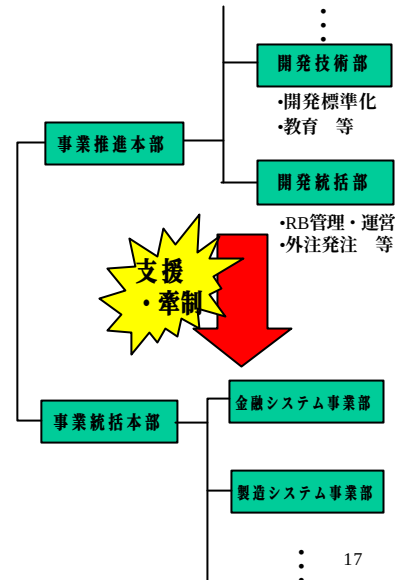
- ・レビューボード運営規定変更による管理強化
- ・収支/要員/外注管理の徹底

【社員教育】

- ・プロジェクト管理教育プログラムの再構築
- ・トラブルに関する情報の共有化

【その他】

- ・プロジェクト管理システムの構築



17

単独 情報サービス売上原価明細書(抜粋)

IT Solution Innovator **ISI/D**

(単位: 百万円、%)

	02年3月期	構成比	03年3月期	構成比	前年比
外注費	18,636	63.2	19,995	65.1	107.3
労務費	6,211	21.1	6,136	20.0	98.8
経費	4,643	15.7	4,573	14.9	98.5
当期総製造費用	29,491	100.0	30,705	100.0	104.1
期首製品・仕掛品 たな卸高	802		1,424		177.6
合計	30,293		32,130		106.1
⋮	⋮		⋮		⋮

18

販売費及び一般管理費 推移

IT Solution Innovator **ISI/D**

(単位：百万円、%)

	03/3 期 期初計画	03/3 期実績	期初計画比	02/3 期実績	前年比
連結	19,500	17,388	89.2%	14,889	116.8%
販管比率	22.4%	24.6%	+2.2P	20.6%	+4.0P
単独	12,500	11,604	92.8%	11,166	103.9%
販管比率	19.5%	21.4%	+1.9P	19.5%	+1.9P

19

2003年3月期 連結キャッシュ・フロー ハイライト

IT Solution Innovator **ISI/D**

(単位：百万円)

	02年3月期	03年3月期	前年増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	485	△6,904	△7,389
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,669	△702	7,967
財務活動による キャッシュ・フロー	△966	△536	430
現金及び現金同等物 の増加額(又は減少額)	△9,081	△8,200	881
現金及び現金同等物 の期首残高	24,154	15,072	△9,081
現金及び現金同等物 の期末残高	15,072	6,735	△8,337

税金等調整前
当期純損失：
約27億円

退職給付制度
変更に伴う精
算金支出：約
33億円

SIID株式追加
取得：約10億円

20

ISIDのグループ経営

IT Solution Innovator **ISID**

中心事業	会社名	出資比率 (%)	メインターゲット市場			
			金融	製造	流通・サービス	電通グループ
コンサルティング	日本ビジネスクリエイト	66.8		●	●	
	iTiDコンサルティング	66.0		●		
	ISIDデロイト	66.0	●	●	●	●
アプリケーション ・システム開発 ・ソフトウェア・プロダクト	ブレインワークス	66.1	●		●	
	ISIDインターテクノロジー	91.7	●		●	●
	SIID	100.0		●		
	ISIDフェアネス	100.0	●	●	●	●
	アカウント・ワン	60.0	●	●	●	
	メカニカル・ダイナミクス・ジャパン	34.0		●		
	海外各社	100.0	●	●	●	
	EFS	38.0	●			
ハード/システム インフラ	兼松エレクトロニクス	20.0	●	●	●	●

21

2003年3月期 ブレイニーワークス業績

IT Solution Innovator **ISID**

(単位：百万円、%)

	02年3月期	03年3月期	前年比
売上高	12,405	9,238	74.5
経常利益	1,381 (11.1)	△229 (△2.4)	—
グループ内 売上比率	14%	18%	
従業員数(名)	317	337	106.3

B
Brainyworks

2003/3期業績

- ・ 金融業向けビジネス不振
- ・ 不採算案件発生

2004/3期に向けて

- ・ パッケージ・インテグレーションの強化：POSITIVE拡販
- ・ コスト構造の改善及びシステム開発品質の向上

22

2003年3月期

コンサルティング3社とのシナジー

IT Solution Innovator **iSiD**



- ・ iTiDコンサルティング
- ・ 日本ビジネスクリエイト
- ・ ISiDデロイト

- ・ 精密機器メーカー向け設計開発プロセス改革
- ・ 半導体関連メーカー向けERPシステム構築
- ・ 自動車会社向けCRMシステム構築

等の案件でコンサルティングからシステム構築へのシナジー効果



23

IT Solution Innovator **iSiD**

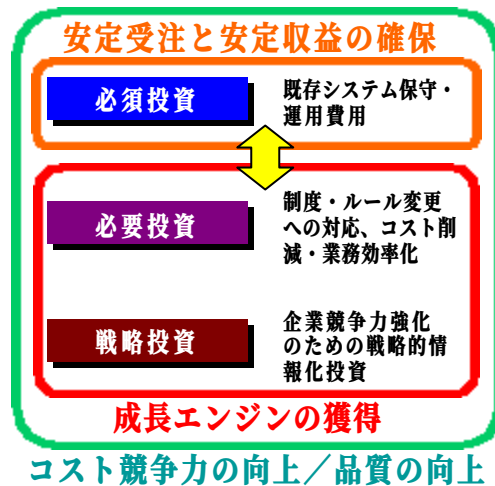
2004年3月期事業戦略

24

中期経営目標における環境認識と戦略

IT Solution Innovator **isiD**

- ・ 今後の景気動向は先行き不透明であり、楽観視できない
- ・ システム投資予算抑制継続⇒投資対象のプライオリティ付け厳格化



企業は効率化・低価格化を追求し、戦略投資に予算を割いていくものと思われる

企業が成長していくためには欠かせないシステム投資
⇒経営課題に直結したものが投資対象

25

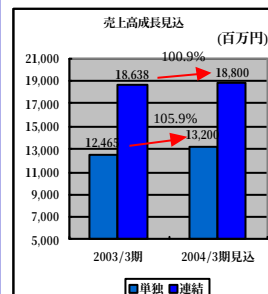
金融業向けソリューション戦略

IT Solution Innovator **isiD**

事業環境

- ・ 2002年度第4四半期から受注活動は回復傾向
- ・ IT投資回復の期待はあるものの、全般的なトレンドには至っていない
- ・ IT投資優先順位は厳格化
 - ① 既存システム維持・保守 ② 制度対応／合理化・業務効率化 ③ 戦略分野

注力領域とソリューション



26

製造業向けソリューション戦略

事業環境

- ・IT投資抑制傾向は継続
- ・製造業企業の課題である「期間短縮」「品質向上」「コスト削減」に実効果のあるソリューションへのニーズが高い
- ・設計開発プロセス改革、生産管理ソリューションへのIT投資は積極的

注力領域とソリューション

【設計開発/プロセス改革領域】

- ・開発生産性向上
- ・IT ROI向上
- ・全体プロセスの見直しと再構築

iTiDコンサルティングのコンサル力強化
開発生産性アセスメント手法 iTiD Index強化
効・エキ・ソフト全体プロセスをカバー
コンサルティング・メソッドの整備体系化
結果としてITソリューション導入の拡大

【設計開発/個別課題領域】

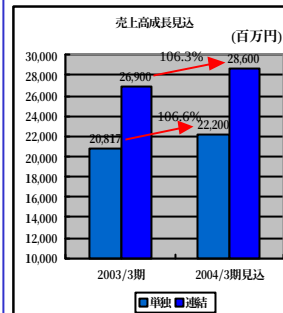
- ・解析主導設計
- ・設計標準化/効率化
- ・データ品質管理
- ・マルチCAD環境対応、等

定型ソリューション開発・展開
・CAD/CAM系：設計者向けCAE支援システム、設計ナビゲーションシステム、データ変換・補正システム、等
・PDM/CPD系：解析ポータルシステム、マルチCADデータ管理、等

【生産管理領域】

- ・生産性向上にむけた管理強化

ERP拡大
・日本ビジネス向けとのシナジー拡大
コンサルティング構築・運用
・SAR、MCFrameに注力



27

流通・サービス業向けソリューション戦略

事業環境

- ・長引く不況によるIT投資抑制傾向の継続
- ・戦略的経営管理・収益管理のための企業会計領域はIT投資意欲が高い
- ・生産性向上に繋がるナレッジマネジメント領域への投資、売上拡大に繋がるマーケティング領域への投資に対しても、戦略的投資としてIT投資意欲が高い

注力領域とソリューション

【企業会計領域】

グループ価値創造に向けた経営管理課題
財務会計強化
制度連結(四半期開示)対応
管理会計・管理連結導入

グループ経営ソリューション
新・連結会計システム投入
Oracle、Hyperion継続注力

【ナレッジマネジメント領域】

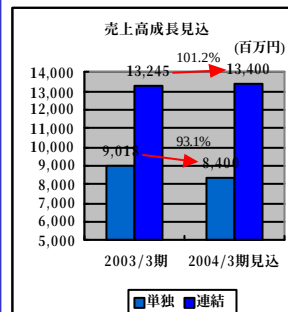
業務効率改善課題
企業内知識・ノウハウの共有
業務プロセス改革

EIPソリューション
・企業内大型ポータルシステム構築
インフラ技術、デジタルライ技術の活用
・TV会議、ワークフロー構築も視野

【マーケティング領域】

顧客関係強化課題
マーケティング・コミュニケーション、
キャンペーン・マネジメント強化

CRMソリューション
・コンサルティング構築
ISiDデロイトとの連携推進
・電通との協業推進



28

2004年3月期 業種別売上高予想

IT Solution Innovator **ISI/D**

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年3月期	04年3月期	前年比	03年3月期	04年3月期	前年比
金融	18,638	18,800	100.9	12,465	13,200	105.9
製造	26,900	28,600	106.3	20,817	22,200	106.6
電通グループ	12,030	12,200	101.4	12,030	12,200	101.4
流通・サービス等	13,245	13,400	101.2	9,018	8,400	93.1
合計	70,813	73,000	103.1	54,331	56,000	103.1

29

2004年3月期 サービス品目別売上高予想

IT Solution Innovator **ISI/D**

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年3月期	04年3月期	前年比	03年3月期	04年3月期	前年比
システム開発	25,790	26,750	103.7	20,003	20,200	101.0
ソフトウェア製品	2,225	2,350	105.6	1,379	1,400	101.5
情報処理 通信サービス	5,801	3,700	63.8	4,718	2,970	62.9
ソフトウェア商品	27,076	30,100	111.2	21,702	24,000	110.6
情報機器販売	9,406	9,900	105.3	6,107	7,300	119.5
その他	512	200	39.1	419	130	31.0
合計	70,813	73,000	103.1	54,331	56,000	103.1

*2003年3月をもって、情報処理通信サービスの内、
G*NETサービス(03/3期売上高約8億円)を終了いたしました

30

2003年9月中間期 業績予想

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	02年9月期	03年9月期	前年比	02年9月期	03年9月期	前年比
売上高	34,152	30,000	87.8	25,180	22,900	90.9
営業利益 (利益率)	△733 (△2.1)	△810 (△2.7)	—	△744 (△3.0)	△490 (△2.1)	—
経常利益 (利益率)	△581 (△1.7)	△620 (△2.1)	—	△637 (△2.5)	△430 (△1.9)	—
当期純利益 (利益率)	△758 (△2.2)	△590 (△2.0)	—	△596 (△2.4)	△320 (△1.4)	—

31

2003年9月中間期 業種別売上高予想

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	02年9月期	03年9月期	前年比	02年9月期	03年9月期	前年比
金融	10,362	7,200	69.5	6,145	5,000	81.4
製造	12,631	12,130	96.0	9,733	9,350	96.1
電通グループ	5,434	5,570	102.5	5,434	5,570	102.5
流通・ サービス等	5,723	5,100	89.1	3,867	2,980	77.1
合計	34,152	30,000	87.8	25,180	22,900	90.9

32

2003年9月中間期 サービス品目別売上高予想

IT Solution Innovator **iSiD**

(単位：百万円、%)

	連 結			単 独		
	02年9月期	03年9月期	前年比	02年9月期	03年9月期	前年比
システム開発	12,370	9,900	80.0	9,063	7,400	81.7
ソフトウェア製品	1,246	1,150	92.3	685	730	106.6
情報処理 通信サービス	2,714	1,850	68.2	2,164	1,550	71.6
ソフトウェア商品	13,090	12,810	97.9	10,440	10,100	96.7
情報機器販売	4,503	4,200	93.3	2,645	3,050	115.3
その他	227	90	39.6	184	70	38.0
合計	34,152	30,000	87.8	25,180	22,900	90.9

33

IT Solution Innovator **iSiD**

2003年3月期 決算説明会

2003年5月20日

株式会社電通国際情報サービス

34